

hamamatsu monodukuri meister

浜松ものづくりマイスター

平成25年度 浜松ものづくりマイスター認定者

株式会社浅沼技研

代表取締役社長 あさ ぬま すすむ 浅沼 進 氏

専門相談対応分野

鑄造・計測分野

世界に通用するモノづくりをめざして、高い精度が要求されるエンジンやトランスミッション関連の試作品をアルミ砂型鑄造、機械加工、測定・検査までの一貫体制で製造しています。温度および湿度管理された工場の中で、100%人工砂を使用して造形した鑄型に溶けたアルミを流し込んで鑄造しています。また、新たな鑄造技術として、「新差圧鑄造法によるピンホールフリー技術」「チクソキャスト法を活用したハイブリッドモールド」を開発しました。計測分野においては当社オリジナルの3次元測定機検証用ゲージ「クオリティーマスター」は、NIST(米国標準技術研究所)とトレーサビリティが取れており、この分野では日本初となるNVLAP認定校正事業者の資格を取得しています。さらに、「クオリティーマスター」はPTB(ドイツ標準研究所)ともトレーサビリティが取れています。

マイスター Profile ～資格・実績・受賞 等～

- 2003年 1月 NIST(米国標準技術研究所) NVLAP認定取得
- 2004年 8月 クオリティーマスター米国特許取得
- 2005年 8月 「第1回モノづくり日本大賞」特別賞 浅沼社長 受賞
- 2006年 4月 「元気なモノづくり中小企業300社」に選出
- 2007年 8月 「第2回モノづくり日本大賞」「新差圧鑄造法」優秀賞受賞
- 2010年 6月 平成22年度社団法人日本鑄造工学会「技術賞」受賞
- 2011年 6月 文部科学省「平成23年度科学技術賞技術部門」受賞

特許取得／「検査用マスタブロック及びその製造方法」
「差圧鑄造装置」



ジグボーラー:非常に高精度の加工ができるNC加工機



人工砂型100%使用した鑄型



株式会社浅沼技研 代表取締役社長 浅沼 進 氏

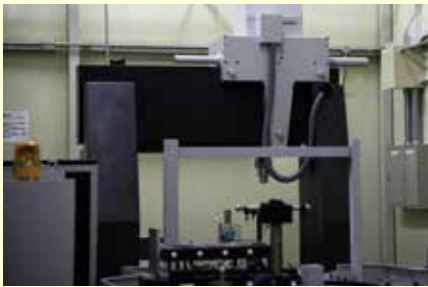
所在地 浜松市西区湖東町4079-1

●自分の人生を設計して実行する

高校生の時に、将来自分で事業を興すために、いつまでに何をやらなくてはならないかを詳しく計画して明記し、それらを実行してきました。まず日本電装（現・株式会社デンソー）へ1年3か月勤めました。入社から4ヶ月目で独身寮の寮長をやらせてもらうことができ、その間にリーダー研修など多くの研修会に参加し、会社組織の基本を学びました。その後、浜松で鉄工の仕事をやろう、精度の高い加工を覚えようということで、4年間、約80名ほどの八千代工研へ入社して汎用機の加工を習得しました。更に、東洋ベアリングに1年間出向して測定と空調の怖さを教えられました。測定における不確かさや空調管理による測定値の影響などを学びました。最後に営業と経理を覚えようと株式会社西川機械製作所で営業として勤務した後、29歳で独立しました。

- ◎1948年
浜松市中区野口町生まれ
- ◎1966年
興誠高等学校卒業
- ◎1968年
職業訓練所卒業
日本電装株式会社（現・株式会社デンソー）入社 1年3か月勤務
- ◎1970年
八千代工研入社
- ◎1973年
株式会社西川機械製作所入社
- ◎1977年
個人創業
- ◎1978年
株式会社浅沼技研設立

しごとの相棒



恒温室20℃±0.5℃に管理された部屋の中で マシニングセンタ
3次元測定機で計測する



仕事の手応え／喜び／やりがい

世界的にメーカーとして認められるように、本物のノウハウを持って社員みんなに自分たちの基礎を感じてもらえること、また足りない部分をしっかりと見てもらいたい。そして海外へもっと出て行ってもらいたい。ドイツ、アメリカと仕事をすることが夢です。

プロフェッショナルの視点

測定が国際的に通用するためには、国家標準とトレーサビリティが取れていることが重要だと考え、最初にPTB（ドイツ標準研究所）へ、計測に関する国家認定を取得したいと訪問しました。3～4年くらいは、一言も話してもらえませんでした。4年目くらいで話をしてくれるようになり、それから5～6年たって、アメリカの認定を先に取りようにと云われ、NIST（米国標準技術研究所）の認定取得を目指しました。そこから8年かかって3次元測定機検証用ゲージの米国国家標準とのトレーサビリティを確立し、NVLAP認定校正事業者の資格を取得してそれをずっと維持しています。もう一つの課題は、材料管理における熱処理がとても難しいことです。私はアメリカの航空宇宙の会社を何社か回り、その中でワーカーから熱処理の概要や条件を聞いてホテルに帰ってスケッチして、熱処理炉を日本で特注で作らせました。材料管理および鑄造工程において一番こだわったのは熱処理と人工の砂ということです。

プロになる方法

マネしないこと。マネしたのものにはノウハウはありません。ゼロから作り込んでいくことでノウハウが蓄積されていきます。そして、全てを前向きな姿勢で、あきらめないことです。コツコツやっていくと10年はかかります。



砂型と製品／
砂型（右）に半溶融アルミを
流し込んで製品（左）ができる